


手すり固定金具 取付プレート (固定式手すり用)


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	! は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--

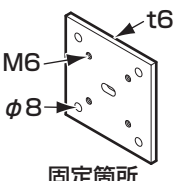
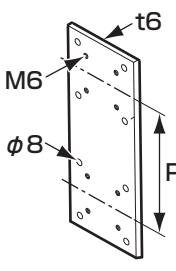
! 注意

 必ず実行	手すりが外れたり、ガタツキが生じないように取り付ける 手すりが外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	 必ず実行	指定された壁に使用する 指定された壁以外に使用しますと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。
---	--	--	--

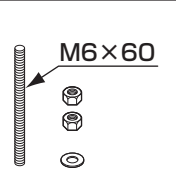
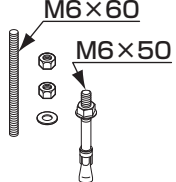
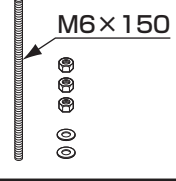
2. 取り付け前に

手すり取付プレートは、各種壁にボルトなどと組み合わせ使用します。下地の種類とボルト類があっているか確認してください。取付プレート取付位置は、手すり現物であわせるか、フランジ間の寸法±1mmで取り付けてください。手すりの取付位置は、TOTOの設計施工資料集などを参照してください。取付プレート使用の場合、壁仕上げ後、手すりの取付位置は調整できませんので注意してください。

<取付プレートの種類>

外観	品番	対象商品
 固定箇所 1カ所用	T110D11	・パブリック用手すり(T114型は除く) ・背もたれ (EWC382~385, EWC282~285) ・前方ボード付手すり用
	T110D38	・パブリック手すり(T114型) ・背もたれ (EWC392~395, EWC292~295)用
 固定箇所 上下2カ所用	T110D12 (P=160)	T112型・T113型用
	T110D62 (P=150)	T112型・T113型用
	T110D13 (P=180)	パブリック用手すり (T110B型 (小便器用手すりは除く)) 用
	T110D14 (P=200)	パブリック用手すり (T110B型 (小便器用手すり)) 用
	T110D39 (P=160)	パブリック用手すり (T114型) 用
	T110D63 (P=150)	パブリック用手すり (T114型) 用
	T110D40 (P=240)	トイレアームレスト用

<各種壁に取付プレートと組み合わせ使用します>

外観	品番	セット内訳 (固定箇所1カ所分)	壁の種類
	T110D41 (溶接セット)	・長ねじボルト/4本 ・座金/4個 ・ナット/8個	軽量鉄骨下地
	T110D42 (埋め込みセット)	・長ねじボルト/4本 ・座金/4個 ・ナット/8個 ・アンカーボルト/4本	コンクリート下地 GL工法
	T110D43 (はさみ込みセット)	・長ねじボルト/4本 ・座金/8個 ・ナット/12個	コンクリートブロック 木下地など

※ボルトの長さが短い場合は現場調達してください。

3-1. 手すり固定金具の取り付け

〈長ねじボルト出代対象表〉*

長ねじボルト出代 (mm)	対象商品
9~12	T110B・T114型 背もたれ・トイレアームレスト
9~16	T112・T113型 前方ボード付き手すり

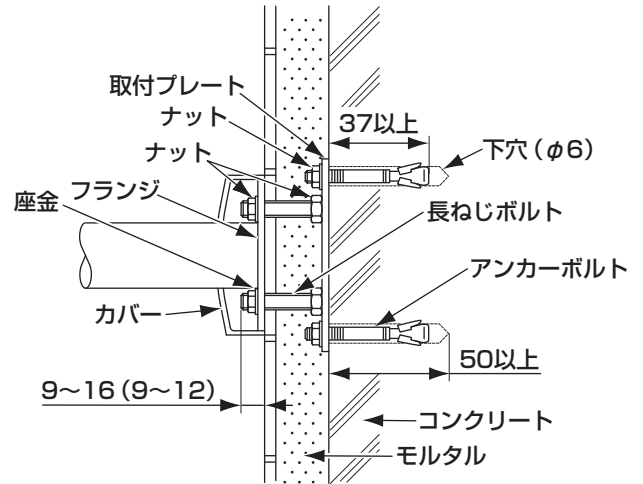
※対象商品により壁仕上げ後、長ねじボルトの寸法が異なりますので、必ず表を確認の上、施工してください。

コンクリート下地・GL工法：取付プレート埋め込み固定の場合

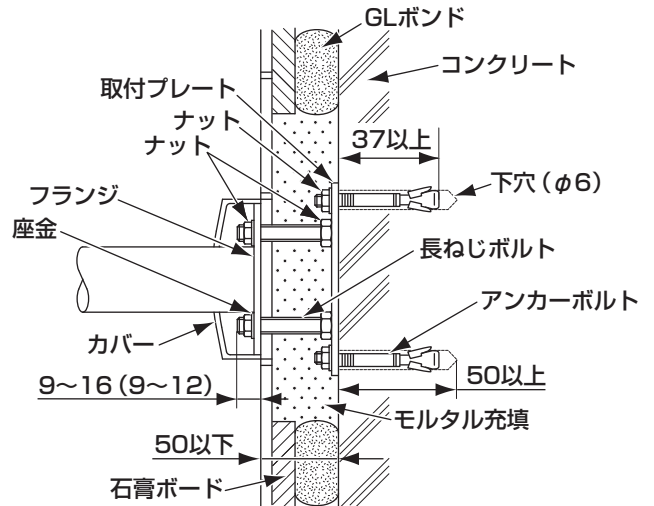
(単位：mm)

- ①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mm以上のアンカーボルトの下穴をあける。[注1・2](#)
- ②ナットをアンカーボルト上端より2mm程度ねじ込み、取付プレートの取付穴に通し、下穴に軽く打ち込む。[注3](#)
- ③アンカーボルトのナットを締め付ける。
- ④取付プレートのボルト穴に、長ねじボルトをねじ込み、ナットで締め付ける。[注4](#)
- ⑤壁仕上げ後、長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より長ねじボルト出代対象表*の範囲となるように調整する。
- ⑥フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。
- ⑦カバーを仕上げ面に押し付ける。

コンクリート下地の場合



GL工法の場合



注意

注1：コンクリートにφ6mm、深さ50mm以上の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと取付プレートの確実な固定ができませんことがあります。

注2：取付プレートの取付位置は、手すり現物であわせるか、フランジ間の寸法±1mmで固定してください。左記寸法から外れると、手すりがガタついたり、取り付けできないことがあります。

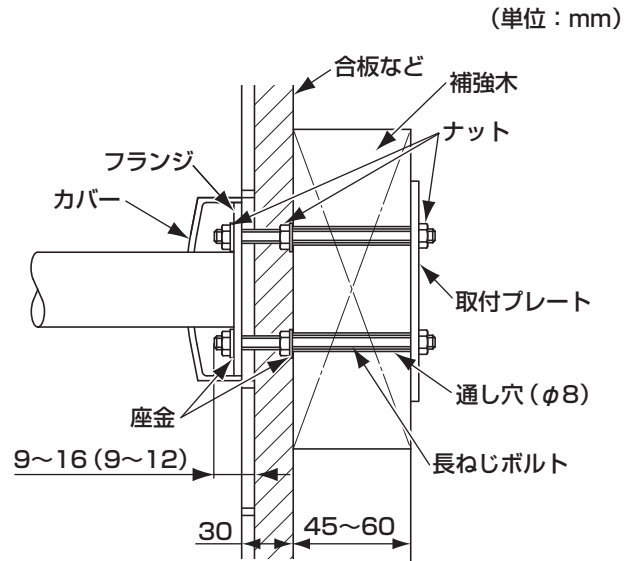
注3：アンカーボルトのコンクリートへの埋込代は37mm以上となるようにしてください。37mm未満では手すりが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

注4：ボルトの長さが短い場合は、M6長ねじボルトを現場調達してください。

3-2. 手すり固定金具の取り付け

木下地：取付プレートはさみ込み固定の場合

- ①事前到手すり取付部に厚さ45~60mmの補強木を取り付ける。**注1**
- ②心出しをしたあと、φ8mmのボルトの通し穴をあける。
- ③長ねじボルトを通し穴に差し込み、壁両側に取付プレートを当て、両側より座金、ナットで締め付ける。
- ④手すり取付側の取付プレートのボルト穴に、長ねじボルトをねじ込み、ナットで締め付ける。
- ⑤壁仕上げ後、長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より長ねじボルト出代対象表*の範囲となるように調整する。**注2・5**
- ⑥フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。**注3・4**
- ⑦カバーを仕上げ面に押し付ける。

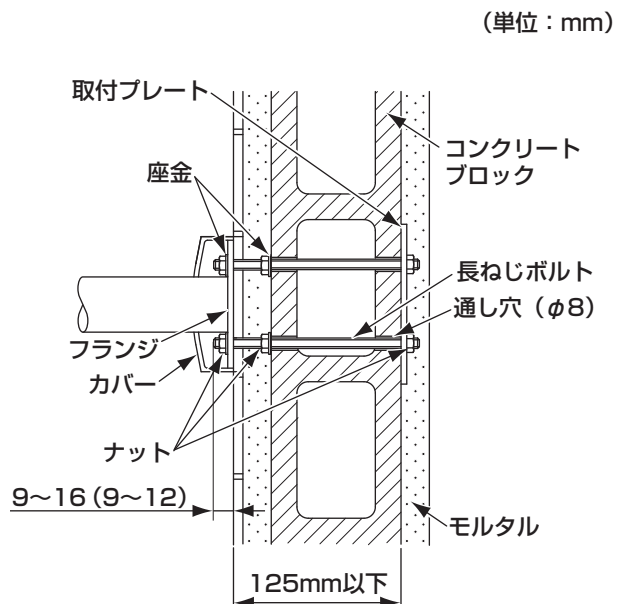


注意

- 注1：**厚さ45~60mmの補強木を必ず取り付けてください。補強木を取り付けないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。
- 注2：**長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるように調整してください。規定の範囲から外れると、カバーまたは手すりが取り付けできないことがあります。
- 注3：**長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。
- 注4：**ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。
- 注5：**ボルトの長さが短い場合は、M6長ねじボルトを現場調達してください。

コンクリートブロック下地：取付プレートはさみ込み固定の場合

- ①心出しをしたあと、取付プレートの取付穴にあわせ、φ8mmの長ねじボルトの通し穴をあける。**注1**
- ②長ねじボルトを通し穴に差し込み、壁両側に取付プレートを当て、両側より座金、ナットで締め付ける。
- ③手すり取付側の取付プレートのボルト穴に、長ねじボルトをねじ込み、ナットで締め付ける。
- ④壁仕上げ後、長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より長ねじボルト出代対象表*の範囲となるように調整する。**注2・5**
- ⑤フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。**注3・4**
- ⑥カバーを仕上げ面に押し付ける。



注意

- 注1：**空洞部をモルタルなどで埋める必要はありません。
- 注2：**長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるように調整してください。規定の範囲から外れると、カバーまたは手すりが取り付けできないことがあります。
- 注3：**長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。
- 注4：**ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。
- 注5：**ボルトの長さが短い場合は、M6長ねじボルトを現場調達してください。

3-3. 手すり固定金具の取り付け

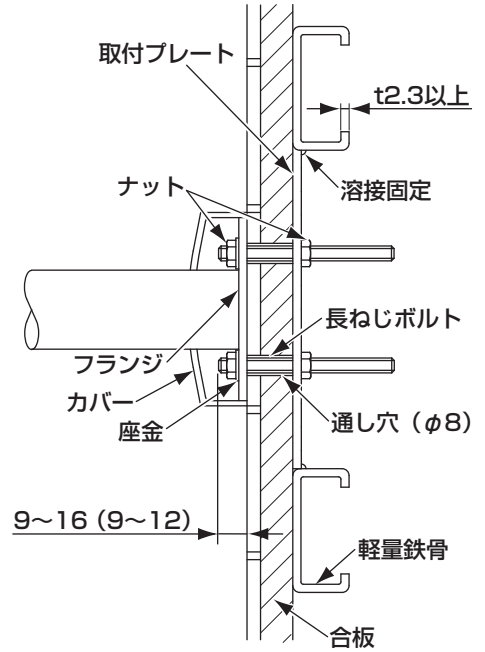
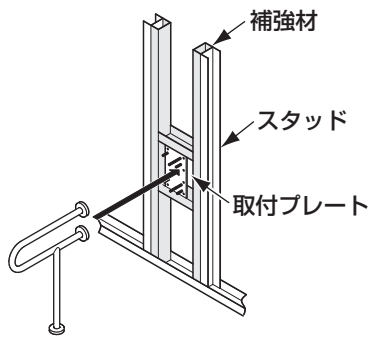
軽量鉄骨下地：取付プレート溶接固定の場合

(単位：mm)

- ①手すり取付位置に、取付プレートをt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨に溶接固定する。**注1**
- ②取付プレートの穴に、長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より長ねじボルト出代対象表*の範囲となるように調整し裏面よりナットで締め付ける。**注2**
- ③壁を仕上げる。
- ④フランジの取付穴を長ねじボルトに通し座金、ナットで締め付ける。**注3・4**
- ⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。

〈取付方法〉

※壁仕上げ後、手すり（または背もたれ、トイレアームレスト）の取付位置は調整できません。



注意

- 注1：補強材の軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。手すりが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。
- 注2：長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるように調整してください。規定の範囲から外れると、カバーまたは手すりが取り付けできないことがあります。
- 注3：長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。
- 注4：ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。